

令和4年度第4回 姫路市官民データ活用推進会議

別紙

- 開会
- 会議成立報告および傍聴定数確認
- 議題 「「第2期姫路市官民データ活用推進計画（案）」に関する市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について」

※以下、「本計画」は「姫路市官民データ活用推進計画」を指すものとする。

事務局	<p>議事説明</p> <p>（資料1）「第2期姫路市官民データ活用推進計画（案）」に関する市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について、（資料2）第2期姫路市官民データ活用推進計画（案）（概要）、（資料3）第2期姫路市官民データ活用推進計画（案）</p>
	<p>議事に関する質問、意見</p> <p>（市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について）</p>
委員	<p>今回のパブリックコメントは、どのようなところに対して事業者から意見が来ているか、事務局は把握しているか。</p>
事務局	<p>把握はしている。</p> <p>計画全体への意見や No.3 の観光分野のオープンデータに対する意見、No.5 のオープンデータの作業を効率的に行うべきという意見、No.6 の EBPM に関する意見、地元事業者としては、No.9 の VR コンテンツに関する意見、などがそうである。</p>
委員	<p>今回のパブリックコメントの結果は、ホームページなどで公開するのか。</p>
事務局	<p>資料1も含めて公開の予定である。</p>
委員	<p>電子図書については、利点がある一方で便利さに対して疑問を覚える方もいる。その一例を述べると、電子図書館のデータにアクセスする際の通信料がかかることに対して抵抗を感じている。</p> <p>Wi-Fi 環境の整備も含めて、若い方も含めてこのような技術を活用できる環境の普及の必要はあるのではないか。</p>
事務局	<p>本市のデジタル図書館の運用は始まったばかりであるので、費用対効果も検証していく必要もある。</p> <p>また、令和5年度予算において、公民館の Wi-Fi 環境の整備を行う。公民館などで子ども</p>

	<p>の学習機会として電子図書を活用できたり、一方で若者が高齢者にパソコンやスマートフォンの使い方を教えたりするような拠点としていきたいと考えている。</p>
委員	<p>現状の電子図書は、1人3点までなので、参照できる図書の数を増やすことも検討していただきたい。</p>
事務局	<p>コストとのバランスを踏まえ、検討していきたい。</p>
委員	<p>私の住む地域では、公民館の Wi-Fi 環境などを整えて研修会などを行っている。因果関係はつかめないが、子どもが集まる拠点になってきているようにも感じている。このように市民にとって一番近い部分で、抵抗なく利用できるようになることで、デジタルが使いやすくなっていくのではないかと感じる。</p>
事務局	<p>是非当該地域での活動を横展開していただければと思う。また、地域ごとでの課題に対して市が支援を行い、一時的な取組ではなく継続的な取組として、地域とともに考えていきたいと思っている。</p>
事務局	<p>使いやすさ（インターフェース）にも意識しないといけないと考えている。 また、使っていただくための手助けとして、K P I にも設定しているとおり、デジタルデバインド対策を3年間で1万回と設定している。現在実施している公民館講座なども含め、申請などの方法については紙のマニュアルを作成するだけでなく、その説明に係るわかりやすい動画なども作成し、目標達成のために着実に取り組んでいきたいと考えている。</p>
委員	<p>K P I 設定されている項目については、主な施策ごとに設定はしていないのか。 また、産業のデジタル化において、「延べ宿泊者数」だけの項目設定では、デジタルの計画として内容が不足しているように感じるため、「観光のデジタル化による」などの表現についても検討いただきたい。</p>
事務局	<p>K P I の設定に関しては、基本的施策ごとに1つのK P I 項目を設定しているが、本計画の3か年において、特に力をいれて取り組みたい部分を設定している。例えば、行政のデジタル化については、行政手続のオンライン化を重点的に進めていきたいと考えている。 暮らしのデジタル化については、スマートフォンが普及している現代において、アプリでのサービス提供に力をいれていきたいと考えている。産業のデジタル化については、姫路城世界遺産登録30周年や大阪・関西万博などのタイミングでデジタルを活用した誘客を図り、姫路の課題である宿泊型観光を達成したいと考えている。</p>

	<p>また、産業のデジタル化におけるK P Iの項目については、意見を踏まえて表現を検討したい。</p>
委員	<p>第4章「2 暮らしのデジタル化」において、「都市OS」という言葉が記述されているが、用語集においても説明がないので、どのようなものか説明いただきたい。</p>
事務局	<p>「都市OS」については、用語集に記載する。</p> <p>都市OSとは、スマートシティ事業の取組の中で、計画内にも表現している「データ連携基盤」が一つの役割であるが、これは、様々なサービスにおいて、個別バラバラに管理されているデータを、サービス間で連携させるような仕組みである。そのような連携により、新たなサービスに展開していくことができる仕組みである。国の「スマートシティリファレンスアーキテクチャ」の中で都市OSも含めて構築のガイドラインが示されている。</p>
委員	<p>教育現場における情報授業において、学習する環境は整ってきているように感じている。ただ、保護者の方からどのような内容を行うのか尋ねられる部分もあるため、具体的に記載する方が、一般の市民の方はわかりやすいのではないかと。</p> <p>また、パブリックコメントの数は、この程度の件数が一般的なのか。少ないような印象である。</p>
委員	<p>シェアリングエコノミーの部分において、どのように姫路市の実情や潜在的なニーズを把握する予定なのかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>本計画において、シェアリングエコノミーだけでなく、地元企業や各種団体などとコミュニケーションをとる場が必要だと考えている。近隣市町も導入している政策立案段階から市民参加型の合意形成ツールを活用して、意見を交わす場を作りたいと考えている。また、シェアリングエコノミー協会とも、若者を中心に、本市と連携した取組を進めたいと考えているため、計画策定後においても引き続き協力をお願いしたい。</p>
事務局	<p>教育分野については、表現を工夫したい。</p> <p>パブリックコメントの件数については、少ないのが事実である。</p> <p>シェアリングエコノミーについては、デジタルの分野だけでなく、政策局においても展開していきたいと考えているため、シェアリングエコノミーを認知いただくことを進めていくとともに、行政の関わり方を考えていきたい。</p>

委員	目指すべき姿のイメージ図について、表現に工夫が必要だと思うが、体が不自由な方や外国籍の方を入れるのはどうか。そのような表現で、誰ひとり取り残されないという考え方やSDGsの考え方も表現できるのではないか。
事務局	ご指摘の内容については、表現を検討しつつ、可能な限り対応していきたい。
委員	計画全体が、網羅的かつシンプルに表現されている。 パブリックコメントにおいても、ポジティブな意見を寄せていただいてよかったと感じる。また、意見への市からの回答においても、意見を踏まえた回答ができていているように感じる。 K P Iにおいて、行政手続のオンライン化の目標値が100%になっているが、ほとんど件数のない手続においてもオンライン化することが、費用対効果を下げってしまうようなことであれば、目標値を検討した方がいいと思う。
事務局	行政手続のオンライン化についてのK P Iだが、注釈として「全行政手続きのうち、取り扱い件数の少ない手続きを除く」としており、ご意見のとおり費用対効果を勘案したいと思います。

事務局	事務連絡
事務局	今後の計画策定までの流れについて 3月に予定されている姫路市議会・総務委員会に、計画案を報告した後、計画の策定する予定。

審議事項および議事要旨のホームページへの公開並びに議事要旨の事前確認について確認

14時30分 終了